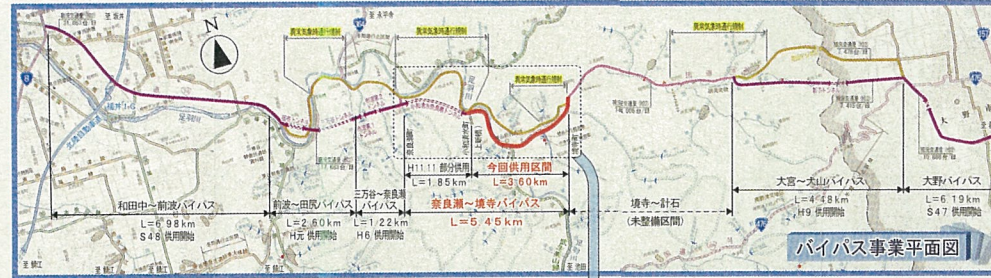


【最近供用を開始した道路】

一般国道158号 奈良瀬～境寺バイパス 平成24年4月21日供用開始

位置図



事業の概要

一般国道158号は、福井市和田中町の国道8号交差点を起点とし、旧美山町・大野市・旧泉村・岐阜県を経て、長野県松本市に至る延長 約27.7kmの幹線道路です。

特に、福井市と大野市を結ぶ区間は交通量が約14,000台/日と非常に多い道路ですが、福井市奈良瀬町～境寺町の区間はカーブが急で幅が狭く、朝夕には交通渋滞が発生しています。

このため、「奈良瀬～境寺バイパス」の整備を平成5年度に事業着手し、平成11年11月には小和清水奈良瀬トンネルを含む奈良瀬町から上新橋交差点までの約1.9km区間が部分供用されました。

今回、上新橋交差点～境寺町の約3.6kmを供用することにより、急カーブ、幅員狭小区間が解消されると共に交通渋滞の緩和に寄与します。

- 名称 一般国道158号 道路改善事業 奈良瀬～境寺バイパス
- 事業区間 福井市 奈良瀬町～境寺町
- 事業延長 L=5.45km
- 事業期間 平成5年度～平成23年度
- 事業費 約148億円 (うち部分供用 L=1.85km 約75億円)
- 道路規格 第3種 第2級
- 設計速度 60km/h
- 車道幅員 6.5m (車道幅 9.5m)



期待される事業効果

交通の円滑化

福井～奥越間が、より早く近くなりやすくなります。

福井市～大野市間を結ぶ主要幹線道路ですが、現国道は急カーブが連続し、集落内は幅員も狭い中、交通量は約11,000台/日あり交通渋滞や交通事故が発生していました。

新しいバイパスは、十分な幅員が確保されており、車両の円滑な通行が可能となるため、福井市～大野市間の幹線機能が強化されることが、渋滞緩和や事故の減少が期待されます。



現国道の状況 (左: 上新橋 右: 境寺町)

防災対策・危機管理の充実

予期せぬ災害や事故に対して、強い道路となります。

現在の道路は、道路沿に斜面を多く抱え異常気象時通行規制区間が存在しますが、近隣に代替幹線道路がなく、災害や事故発生時は勝山市を經由して国道116号へ大きく迂回する必要があります。

バイパス整備により異常気象時にも通行規制が無く、また現国道と複数のルートが確保されるため、災害に強い道路となります。

すでにバイパス(小和清水奈良瀬トンネル)が供用していたため、利用者に大きな影響はありませんでした。



小和清水町 法面崩壊事故 (平成21年9月発生)

降雪力の向上

雪国福井の冬場において、交通機能の低下を抑制します。

奥山地区は降雪量も多く、現在の道路では冬場は路面凍結や大雪、また除雪の雪により十分な幅員の確保が困難でした。

新しいバイパスは、車道の外側に路肩1.5mを確保しているため、除雪作業の効率化、積雪時の交通円滑化が期待されます。

降雪時や大雪で道路の降雪により、走行速度が大きく低下して渋滞が顕著になります。



冬期降雪時の現国道の様子

パネル例